

●しるし(cf. 2:1-12; 4:46-54; 5:1-17; 6:1-14; 6:15-21)

○世の光である御子と盲人：四つの場面

1. _____(1-3a)

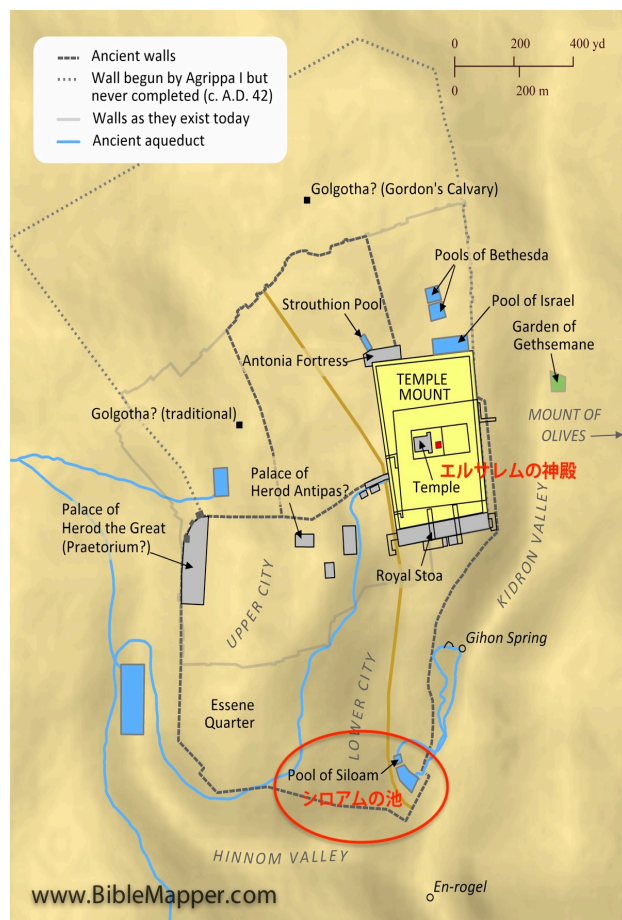
▶「生まれつきの盲人」

▶「見られた」

「罪なくして死はなく、不義なくして苦しみはない。」(ラビ・アンミ)

※1コリント11:29-30

「みからだをわきまえないで、飲み食いするならば、その飲み食いが自分をさばくことになります。そのために、あなたがたの中に、弱い者や病人が多くなり、死んだ者が大ぜいいます。」



(引用:<https://holylandphotos.wordpress.com/2023/01/16/the-pool-of-siloam-to-be-excavated/>)

※ヨブ4:7

「さあ思い出せ。だれか罪がないのに滅びた者があるか。どこに正しい人で絶たれた者があるか。」

2. _____(3b-5)

※イザヤ55:8-9

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。--主の御告げ-- 天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。」

※創世記50:20

「あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。」

※出エジプト記4:11-12

「主は彼に仰せられた。「だれが人に口をつけたのか。だれが口をきけなくし、耳を聞こえなくし、あるいは、目を開いたり、盲目にしたりするのか。それはこのわたし、主ではないか。さあ行け。わたしがあなたの口とともにあつて、あなたの言うべきことを教えよう。」

「何十年も前、浅瀬に飛び込んだ衝撃で首を折り、体が麻痺したとき、私は神に対して避けて通れない大きな問いに直面しました。それまでの私は、神について浅いところで足を濡らす程度の理解で満足していました。しかし、体の自由を失ったそのとき、私は一気に深い海へと投げ込まれたのです。眠れない夜更けに、私は神に問い続けました。「神さま、この出来事の背後におられたのは誰ですか。あなたですか、それとも悪魔ですか。これはあなたが許されたことですか、それとも定められたことですか。私はまだ信仰の浅い者です…もしあなたが愛の神なら、なぜこんなにも厳しいことをなさるのですか。」それから50年以上が過ぎました。しかしその間、神が私に対して冷酷であったことは一度もありません。それどころか、神は親しい交わりの中で、優しさと深い慰めをもって、私の問いに答えてくださいました。その交わりは、何ものにも代えがたいものです。たとえ再び歩けるようになることと引き換えであっても、決して手放したくはありません。私にとって何よりの慰めは、自分の人生が神の大いなるご計画のうちに、しっかりと抱かれていると知ることです。」(ジョニー・エリクソン・タダ)

3. _____(6-7)

※2コリント4:4

「その場合、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。」

4. _____(8-12)